



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 東急株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9005 URL <https://www.tokyu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 和夫
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計グループ 課長 (氏名) 小田 克 (TEL) 03-3477-6168
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	685,855	△21.0	△15,945	—	△12,594	—	△26,523	—
2020年3月期第3四半期	867,949	1.5	66,114	0.5	66,438	2.1	46,024	△1.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △23,852百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 50,188百万円(8.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△43.91	—
2020年3月期第3四半期	75.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,522,063	772,709	28.6
2020年3月期	2,537,196	809,614	29.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 722,314百万円 2020年3月期 757,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	11.00	23.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年3月期第2四半期末の配当金12.0円は、記念配当2.0円を含んでおります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	931,000	△20.0	△35,000	—	△40,000	—	△60,000	—	△99.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	624,869,876株	2020年3月期	624,869,876株
2021年3月期3Q	20,775,493株	2020年3月期	20,858,041株
2021年3月期3Q	604,085,321株	2020年3月期3Q	607,381,505株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口及び役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2021年3月期第3四半期 : 310,500株 2020年3月期 : 395,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2020年度 第3四半期 決算概況資料」は、本日(2021年2月10日)、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、一部持ち直しの動きが見られたものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、企業収益の大幅な落ち込みが続いており、極めて厳しい状況となりました。当社および連結子会社の事業におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大を受けた外出や移動の自粛、消費需要の低下や利用の減少等により、大きな影響が生じました。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、全事業において新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う消費需要の減少を受け、営業収益は6,858億5千5百万円（前年同期比21.0%減）、営業損失は159億4千5百万円（前年同期は661億1千4百万円の営業利益）、経常損失は125億9千4百万円（前年同期は664億3千8百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は265億2千3百万円（前年同期は460億2千4百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、東急電鉄㈱（前年同期は東急㈱および東急電鉄㈱の鉄軌道業の営業成績を表示）の鉄軌道業における輸送人員は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うお客様の利用減少に伴い定期で34.6%減少、定期外で33.0%減少し、全体では33.9%の減少となりました。

この結果、営業収益は、1,116億2千9百万円（同30.8%減）、東急電鉄㈱において経費の削減に努めたものの、営業損失は、123億2千万円（前年同期は294億9千8百万円の営業利益）となりました。

（当社および東急電鉄㈱の鉄軌道業の営業成績）

種別	単位	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	
		2019. 4. 1～2019. 12. 31	2020. 4. 1～2020. 12. 31	
営業日数	日	275	275	
営業キロ程	キロ	104.9	104.9	
客車走行キロ	千キロ	114,431	115,421	
輸送人員	定期外	千人	360,711	241,648
	定期	千人	555,859	363,801
	計	千人	916,570	605,449
旅客運輸収入	定期外	百万円	58,927	39,000
	定期	百万円	49,502	33,863
	計	百万円	108,429	72,863
運輸雑収	百万円	11,733	10,830	
収入合計	百万円	120,162	83,693	
一日平均旅客運輸収入	百万円	394	265	
乗車効率	%	52.3	33.0	

（注） 乗車効率の算出方法
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、東急ジオックス㈱での前年の大型受注の反動減等があり、営業収益は、1,465億3千9百万円（同5.4%減）、当社の不動産賃貸業における緊急事態宣言発令に伴う施設休業影響等があったものの、当社の不動産販売業において、利益率が高い物件販売があったことにより、営業利益は、224億9千6百万円（同1.4%増）となりました。

③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う出控えや緊急事態宣言発令に伴う各施設の休業・営業時間短縮の影響などにより、営業収益は4,399億2千5百万円（同15.7%減）、営業損失は35億4千4百万円（前年同期は107億3千8百万円の営業利益）となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、ホテル業の㈱東急ホテルズにおいて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言発令による大部分の店舗が休業したことに加え、営業再開後も大幅な利用減少により、稼働率は32.5%（前年同期比△51.2ポイント）となり、営業収益は、294億2千6百万円（同62.2%減）、営業損失は、230億2千3百万円（前年同期は30億7千7百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金の減少等により、2兆5,220億6千3百万円（前期末比151億3千2百万円減）となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が減少したものの、有利子負債（※）が、1兆2,116億7千3百万円（同606億6千2百万円増）となり、1兆7,493億5千4百万円（同217億7千2百万円増）となりました。

(純資産)

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、7,727億9百万円（同369億5百万円減）となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債、コマーシャル・ペーパーの合計

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期業績予想につきましては、前回発表時の予想（2020年11月10日公表）から営業収益は9,310億円（対前回予想比1.0%減）、営業損失は350億円（前回は営業損失200億円）、経常損失は400億円（前回は経常損失250億円）、親会社株主に帰属する当期純損失は600億円（前回は親会社株主に帰属する当期純損失450億円）に変更しております。

また、業績予想の修正をふまえ、期末配当についても前回発表時の予想から修正し、1株あたり15円（中間配当金10円、期末配当金5円）となる見込みであります。

業績予想および期末配当予想の詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」及び「2020年度 第3四半期 決算概況資料」をご参照ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,389	44,009
受取手形及び売掛金	154,176	150,051
商品及び製品	13,717	13,285
分譲土地建物	49,251	43,612
仕掛品	7,044	9,124
原材料及び貯蔵品	8,265	9,033
その他	55,297	50,438
貸倒引当金	△1,195	△1,286
流動資産合計	345,947	318,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	884,032	866,716
機械装置及び運搬具（純額）	78,666	77,300
土地	732,209	738,420
建設仮勘定	147,573	162,151
その他（純額）	33,024	30,705
有形固定資産合計	1,875,506	1,875,295
無形固定資産	40,468	38,027
投資その他の資産		
投資有価証券	176,218	196,226
退職給付に係る資産	4,494	4,746
繰延税金資産	23,846	21,392
その他	71,441	68,835
貸倒引当金	△727	△729
投資その他の資産合計	275,273	290,472
固定資産合計	2,191,248	2,203,794
資産合計	2,537,196	2,522,063

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,082	90,573
短期借入金	331,817	404,219
コマーシャル・ペーパー	50,000	35,000
1年内償還予定の社債	35,090	5,090
未払法人税等	14,066	5,597
引当金	13,193	8,716
前受金	46,772	48,942
その他	131,099	116,193
流動負債合計	725,122	714,332
固定負債		
社債	210,000	270,000
長期借入金	524,102	497,363
引当金	2,912	2,789
退職給付に係る負債	47,768	48,182
長期預り保証金	138,055	136,842
繰延税金負債	14,079	12,099
再評価に係る繰延税金負債	9,168	9,168
その他	43,823	47,908
固定負債合計	989,909	1,024,354
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	12,550	10,667
負債合計	1,727,581	1,749,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	134,023	134,092
利益剰余金	524,423	484,907
自己株式	△37,291	△37,151
株主資本合計	742,880	703,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,983	14,969
繰延ヘッジ損益	△41	44
土地再評価差額金	8,406	8,700
為替換算調整勘定	3,371	1,415
退職給付に係る調整累計額	△7,598	△6,389
その他の包括利益累計額合計	14,122	18,740
非支配株主持分	52,611	50,394
純資産合計	809,614	772,709
負債純資産合計	2,537,196	2,522,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	867,949	685,855
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	633,880	548,990
販売費及び一般管理費	167,954	152,810
営業費合計	801,835	701,801
営業利益又は営業損失(△)	66,114	△15,945
営業外収益		
受取利息	229	218
受取配当金	914	838
持分法による投資利益	5,832	2,680
雇用調整助成金	—	※1 4,847
その他	3,702	4,372
営業外収益合計	10,678	12,956
営業外費用		
支払利息	6,722	6,475
その他	3,631	3,130
営業外費用合計	10,353	9,605
経常利益又は経常損失(△)	66,438	△12,594
特別利益		
雇用調整助成金	—	※1 1,266
固定資産売却益	706	51
工事負担金等受入額	454	447
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,882	1,882
投資有価証券売却益	182	103
その他	581	1,041
特別利益合計	3,807	4,792
特別損失		
工事負担金等圧縮額	366	372
固定資産除却損	701	400
減損損失	1,457	7,135
投資有価証券評価損	735	40
新型コロナウイルス感染症による損失	—	※2 3,734
その他	749	2,303
特別損失合計	4,010	13,987
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66,235	△21,789
法人税等	19,037	5,836
四半期純利益又は四半期純損失(△)	47,197	△27,625
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,173	△1,101
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	46,024	△26,523

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	47,197	△27,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,165	4,090
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	2	—
為替換算調整勘定	△1,457	△1,632
退職給付に係る調整額	1,585	1,114
持分法適用会社に対する持分相当額	695	201
その他の包括利益合計	2,990	3,772
四半期包括利益	50,188	△23,852
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	49,318	△22,199
非支配株主に係る四半期包括利益	869	△1,653

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 雇用調整助成金

新型コロナウイルス感染症拡大に係る雇用調整助成金を営業外収益及び特別利益に計上しております。なお、特別損失に計上した新型コロナウイルス感染症による損失に対応する雇用調整助成金は特別利益に計上しております。

※2 新型コロナウイルス感染症による損失

新型コロナウイルス感染症拡大による政府から発令された緊急事態宣言や、自治体からの外出自粛要請等により、当社グループの一部のホテルや商業施設等において臨時休業いたしました。当該休業中に発生した固定費等（人件費、賃借料、減価償却費等）は臨時性があると判断し、特別損失に計上しております。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)

前連結会計年度の有価証券報告書「(追加情報) (会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方)」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、2020年末にかけての新型コロナウイルス感染症の再拡大や、2021年1月の緊急事態宣言の再発令を踏まえた現状を考慮し、内容の見直しを行いました。収束時期については、依然として予測困難な状況にありますが、2021年3月期末時点においては正常化までには至らず、2021年度以降にかけても段階的に回復していくものと仮定しております。この前提のもと、固定資産の減損会計における将来キャッシュ・フローや繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	159,658	121,816	509,001	77,473	867,949	—	867,949
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,646	33,085	12,569	449	47,751	△47,751	—
計	161,305	154,901	521,571	77,922	915,701	△47,751	867,949
セグメント利益	29,498	22,182	10,738	3,077	65,496	618	66,114

(注) 1. セグメント利益の調整額618百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	109,128	118,642	428,852	29,232	685,855	—	685,855
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,501	27,897	11,073	193	41,666	△41,666	—
計	111,629	146,539	439,925	29,426	727,521	△41,666	685,855
セグメント利益又は損失(△)	△12,320	22,496	△3,544	△23,023	△16,391	445	△15,945

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額445百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテル・リゾート事業」セグメントにおいて5,917百万円、「生活サービス事業」セグメントにおいて1,203百万円の減損損失を計上しております。

なお、減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては7,135百万円であります。